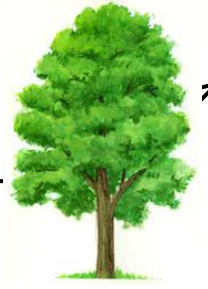




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年8月25日(木) No.7 文責 校長 島田 二郎



前期後半が始まりました

今日から学校が再開です。前期後半が始まりました。生徒の登校の様子を見ていると、笑顔で元気な姿が見られました。1、2年生の中には、真っ黒に日焼けした生徒も見られ、部活動に励んだり、夏のレジャーを楽しんだりした様子がうかがえます。3年生は、1、2年生に比べ、色白に見えます。夏休みから本格的に受験勉強を始めたのでしょう。いずれにしろ、大きな事件・事故がなく、今日を迎えることができ、安心しました。



さて、今日から学校が始まりましたが、これからの1、2ヶ月は『**代替わりの時期**』となります。部活動では、すでに多くの部で3年生が引退し、1、2年生の体制で活動をしています。部長も当然、ほとんど2年生となりました。また、9月になると生徒会改選に向けた諸活動が行われます。生徒会はそうして**第38期へと移行**していきます。このように学校は『代替わりの時期』となります。3年生は自分の進路実現のための受験勉強が中心となり、主に2年生が学校の中核となって活躍するようになります。1年生は、2年生と共に学校を盛り上げる学年へととなります。令和4年度が始まり約半年を経過することで、次の年度に向けた準備が行われるようになります。これらの『変化』は、『夢や希望』につながるものでもあり、『不安』につながるものでもあります。仲間と協力することで、不安をやる気に変え、新たな伝統をつくり、自分の進路実現につなげたりする時期にしてほしいと思います。先生達もしっかりと全校生徒を支援していきます。今日からの学校生活を充実させてほしいと思います。

3年ぶりに地域行事が実施されました

夏休み中に、3年ぶりに夏祭りなどの地域行事が開催されました。コロナ禍で2年間、中止となっていた地域行事でしたが、今年は縮小されたり、形を変えたりしつつ、5つの地区で、地域行事をすることができました。太宰府西中学校の生徒は、こどもみこしを担いだり、お店を手伝ったりしました。中には『開会宣言』をした生徒もいました。また、笑顔で参加した生徒もたくさんいました。複数の夏祭りに参加した生徒もいます。それほど、楽しい地域行事でした。そして、これらの生徒のおかげで、地域に活気が戻ったことが何よりでした。小学生や中学生が地域行事に参加すると、地域はとても活気づきます。子ども達の持つパワーは計り知れないものがあります。今夏、子ども達が地域で輝くことができました。これからも地域で活躍することで、地域を盛り上げ、将来、地域に戻り、地域を支える存在になることを期待します。

